

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回茨木市社会教育委員の会議
開催日時	令和5年7月20日（木） 午後6時～午後7時
開催場所	上中条青少年センター 3階会議室
議 長	三川 俊樹
出席者	稲田 勲 今西 幸蔵 藤田 真由美 桑本 由利子 森脇 護 藤本 裕充 古川 美奈子 三川 俊樹（計8人）
欠席者	小河 尚司
事務局職員	岡田 祐一 教育長 小田 佐衣子 教育総務部長 中井 誠 市民文化部長 吉田 典子 教育総務部次長兼中央図書館長 木下 典子 教育総務部歴史文化財課長 今西 雅子 市民文化部副理事兼文化振興課長 小西 勝二 市民文化部スポーツ推進課長 吉崎 幸司 教育総務部社会教育振興課長 村上 智子 教育総務部社会教育振興課参事兼公民館係長 伊藤 祐介 教育総務部社会教育振興課課長代理兼社会教育係長 他職員（計12人）
議題（案件）	(1) 令和4年度事務・事業実績報告について (2) 令和5年度事務・事業執行計画について
配付資料	会議資料

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
教育長	<p>【あいさつ】</p>
社会教育振興課長	<p>【社会教育委員の紹介・事務局職員の紹介】</p> <p>令和5年7月1日から令和6年6月30日を任期として委嘱された委員を紹介。</p> <p>令和5年4月1日人事異動に伴う事務局職員を紹介。</p>
議長	<p>茨木市社会教育委員条例第5条第2項に基づき、議事進行については三川議長にお願いする。</p> <p>令和5年度第1回茨木市社会教育委員の会議を開会する。</p> <p>【会議の成立】</p> <p>9人中8人の委員にご出席いただいております、茨木市社会教育委員条例第6条第3項の規定により本会議は成立。</p> <p>小河委員からは欠席の連絡をいただいております。</p> <p>本日の会議は、会議時間短縮を図るため、事前に資料をお送りし、意見も頂戴している。簡潔に議事を進めていきたいので、協力を願いたい。</p> <p>【会議の公開】</p> <p>本会議は、「公開」とし、傍聴者の資料の閲覧及び持ち帰りも許可し、ホームページや情報ルーム設置の会議録の内容については、議長に一任願う。</p> <p>本日の議案に入る。</p> <p>まず、資料中「令和5年度の社会教育の努力目標」については、令和4年度第2回の会議において審議いただき策定したものであり、この努力目標に基づき、今年度の事務事業執行を進めるものとなる。</p> <p>本日の議案は、「令和4年度の事務・事業実績報告」と「令和5年度の事務・事業執行計画」であるが、事前に資料送付のうえ、各委員</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>からの意見を聴取した。</p> <p>各委員からの質問・意見と、それらに対する所管課からの回答を取りまとめた資料を配付している。概要について事務局から説明を受けた後、各委員から、関連する内容や、それぞれの立場から意見等があればお願いしたい。</p>
社会教育振興課長	<p>【説明】</p> <p>・委員からの質問・意見及び所管課からの回答について 項番毎に概要を説明。</p>
議長	<p>ご配付の資料について、コロナ禍前の数字との比較ができるよう、令和元年度の数字をつけてもらうようお願いをした。各数値は上向いているようであるが、従前のところまでは戻っていない。</p> <p>各委員から意見等はあるか。</p>
藤本委員	<p>放課後子ども教室について、楽しみにしている。近年、地域の方の高齢化や共働き世帯が多いこと、またPTAも動くのが難しかったりと、子どもの安全を見守る手立てはないかなと思う。学生ボランティアを集めていただくことや、地域・学校に均等に割り当てていただくといったことはできないかと思う。</p>
社会教育振興課長	<p>検討していきたいが、すべての学校でというのは難しいと思う。市の広報誌においてもボランティアに関して特集を組む予定である。継続して取り組んでいきたい。</p>
桑本委員	<p>放課後子ども教室にはPTAとしてもお手伝いをしているところ。今年度からは通常運営となり、児童の集まりもよい。ただ、スタッフも高齢化しており、保護者も極力手伝っている状況だが、大人が児童の相手をするのはやはり大変である。「ちょっと年上のお姉ちゃん」である学生に、少しでも参加していただければ。学生にとってもいい学びにつながると思うし、参加を引き出す手立てがあれば、保護者としてもうれしい。</p>
教育長	<p>なかなか見通しがつかない課題ではあるが、一生懸命取り組んでいただいている方は7～80歳代で、5～60歳代の方は少ない状況であ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>る。定年も伸びており、時間のある方が地域にいない。「関わりたい」学生も多くいるが、コロナ禍の中、大学の授業も厳しく余裕がないということである。対象の大学の幅を広げながら広報していきたい。大学は市外にも多くあるので、市内在住の学生に声が届くように、また大学の市民貢献を促す面からもアプローチしたいと思う。</p> <p>放課後子ども教室は多くの児童が参加してくれている。この3年間で遊びの場がなくなり、子どもが場に飢えている状況である。安全なかたちで子どもたちの居場所づくりを考えていきたい。このままでは回っていかないので、人材面も含め考えたい。</p> <p>地域人材の掘り起こしについては、非認知能力や自尊感情の向上も含め、子どもが地域で活動していくことを基本に、「忙しい」をどうクリアしていくか考えていきたい。他市では企業を活用するような話も聞いているが、本市では考えていない。あくまで地域をベースに取り組みたい。</p> <p>本市で生まれ育った大学生から、こうした活動に参加して役に立つことがうれしいという話があった。地域の卒業生を活用していくというのも手ではないかと思う。</p> <p>他に発言なさる方はおられるか。</p>
今西委員	<p>地域人材の掘り起こしについては、社会教育の課題であって、本来の使命であるところである。掘り起こしに当たっては、まちの強みを押し出していくべきであると考えます。</p> <p>茨木市は、野外活動、人権教育、読書活動に強みがあると考えている。まず、府内でキャンプ場を持っている市はほとんどない。コロナ禍において、社会教育として活動できるのは野外活動。コロナ禍でもできる、という方法論を考えていくなればその活性化を図っていきたい。人権教育では、識字日本語教室など、学ぶモデルは多くあると考えている。外国人の方向けの支援をやってほしいと思う。読書活動については、おにクルぶつくぱーくができることもあり、読書活動をデザイン化して準備していく必要がある。こうした3点を本市の特長として、生かして行ってほしいと思う。</p>
議長	<p>人権教育について、ご提案があった。稲田委員から何か発言はないか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
稲田委員	人権教育について、茨木市は他市に比べて盛んだと思う。市民のつどいの実施も検討している。市、人権尊重のまちづくり条例に関して、人権教育の推進プランを計画していただければと思う。一般に講師料も高くなってきているが、講師を呼んだ講演会などの開催についても、今後もよろしくお願ひしたいと思う。
議長	「令和5年度の事務・事業執行計画」について、発言なさる方はおられるか。
藤田委員	保護者同士のつながりは希薄になってきている。本年度はより活発な活動を期待したい。ワークショップなどでもマスクを着用していると、意見が出にくい。コロナ禍での「発言レスワーク」から、言葉がより活発なワークショップの実施に取り組んでいきたい。
森脇委員	スポーツにおいても、活動は活発になってきている。コロナ禍で大きな声を出せなかった子どもたちも、元気になってきたと感じる。引き続き参加人数がふえるようにやっている状況。パッと心が動くような活動をしていきたい。
古川委員	もうすぐふるさと祭りもあり、準備に忙しい状況である。地域も高齢化が進んでいるが、大学生の応援もあり、恵まれていると感じている。令和元年度の数字も資料に挙げていただいているが、コロナ禍で減った分はなかなか取り戻せないと思っている。子どもの遊び場も少なくなっており、だから「放課後」なのかなと考えている。おおらかに遊べる場所という意味でも野外活動センターには期待している。
社会教育振興課長	野外活動センターへのご期待をいただいている。野外活動センターでは、キャンプ活動を通じた表現力・コミュニケーション能力の向上や、少し不便な環境での活動による忍耐力や判断力の向上など、非認知能力の向上を目指した事業展開に取り組んでいるところである。
議長	他に発言なさる方はおられるか。
今西委員	コミュニティスクールについて、その全国的な状況を見ても、茨木市は進んでいると、自信を持って進めていきたい。ただ、地域人材の掘り起こしがなければ成り立たない仕組み。どう人材を集めていくかというコーディネート能力が必要。地域で様々な取り組みをしてい

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
社会教育振興課参事	<p>る、それぞれの領域のトップリーダーを横軸でどう集めていくかが課題だと思う。推進員だけでなく、コーディネート能力のある人を要請してほしい。公民館をプラットフォームとすることについての意見は取り下げたいが、持論としてはそのように考えている。</p> <p>公民館活動を通じ、積極的に活動されている地域人材は多くいらっしゃる。公民館はプラットフォームとしては機能していないが、コミュニティスクールを構成する重要メンバーとしては認識している。地域の方に横軸で繋がっていただいて、頑張っていけたらと思う。</p>
教育総務部長	<p>本市のように、これだけ公民館の揃っている市は全国でも珍しい。しかし、高齢化など、人手不足は目立っている状況。地域でも、今の時期であれば一生懸命ふるさと祭りの企画をされるなど、以前の活気をどう戻していくか模索しているところである。地域でも努力されている。市も一緒に悩みながら、今後の展開について向かっていきたい。</p>
議長	<p>コミュニティスクールに係る小中連携に関してはどうか。</p>
教育長	<p>小中連携については、現状は4小1中で、2小1中がいいと考えているが、そうならない状況。連携型の小中一貫については、目標や子どもを見る視点などを小中で考えてもらっており、教育内容と地域連携をこれからつくっていくところである。以前からも学校単位で実施してきたところであり、今後も中身を充実させていきたいと思う。4小が1中を支えるという形はふえてきており、こうした中から地域人材が出てくると考えている。「地域の子は地域で見る」という意識を醸成しながら、全体像を共有し、地域と話をしていきたいと思う。</p>
今西委員	<p>4小1中については、担い手が不足している地域学校共同本部をその形でやっていけばいいと考えている。中学校区を1単位とした運営を案としてご検討いただけたらと思う。</p>
議長	<p>おにクルぶっくぱーくについて、概要の説明をお願いします。</p>
中央図書館長	<p>建設工事も進み、姿が見えてきた。11月26日に式典があり、図書の貸し出しは27日からスタートする。図書館でも、ここまでの複合施設に入るのは初めてである。委員の指摘があったように、若者の</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>活字離れは実感しているところ。おにクルが子どもから大人までの施設であるので、色々な年代、色々な人が来る。本で人と人が繋がるような新しい形の図書館になる。来ていただければと思う。</p> <p>ありがとうございました。他に発言なさる方はおられるか。</p> <p>(発言する者なし)</p>
議長	<p>以上で議案に対する意見交換を終了する。</p> <p>事務局から連絡事項等はあるか。</p>
事務局	<p>事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育研究大会について ・ 機関紙「社教情報」の購入申込について ・ 第2回社会教育委員の会議について
議長	<p>以上で、本日予定した案件は、全て終了した。</p> <p>これをもって、令和5年度第1回茨木市社会教育委員の会議を閉会する。</p>